



# ほんものを たべよう

提出日	11/火	12/水	水	金
	30	1	2	3
配達日	12/火	水	木	金
	7	8	9	10
翌々週分配達日	12/火	水	木	金
	14	15	16	17

2021. 12月2週号

Alter Weekly Order Catalogue

## オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

## 無農薬果物

# 自然栽培、 辺塚(へつか)だいたい

香りが高い柑橘です

## 吉田 有志

文責 西川 榮郎(安全な食べものネットワーク オルター 代表)



吉田 有志さん

### 自然栽培、希少な在来品種

鹿児島県は大隅半島佐多岬近くの海岸部の山中で、吉田 有志さんは自然栽培で「辺塚(へつか)だいたい」を栽培しています。

辺塚だたいは「だいたい」と名前がつけられていますが、だたいとは異なる系統らしく、古来から「陸の孤島」と呼ばれ、山と海に囲まれた、大隅半島の先端部のこの地域(肝付町、南大隅町のみ)固有の香酸柑橘類です。希少性が高い、在来品種です。地元では「デデ」と呼ばれています。

辺塚だたいは2016年に農林水産省からGI制度(地理的表示保護制度:地域ブランド)に登録された鹿児島県の特産品です。

### ライムとグレープフルーツの味

果皮の香りは若い蜜柑とライムとグレープフルーツが合わさったような、野生的で、酸味は様々な柑橘のニュアンスがあり、他の柑橘に比べて、口の中に長い余韻を残します。

9月上旬の辺塚だたいは緑色が強く、その色と比例して酸味・香り・苦味が強いです。寒くなるにつれて果実の色が黄色くなり、酸味が抜け甘味が増します。季節によりさまざまな味が楽し

めます。

収穫は10~1月に行います。それ以降は甘味が増すと野生の猿が食べてしまいます。私が現地に訪れた3月には完熟で甘くてたいへんおいしい蜜柑でした。家庭では追熟しないとなかなかそこまで甘くならないかもしれません。

### おいしい柑橘酢

地元では昔から酢の代用品として使われています。にんじんジュース健康法にもバッチリです。ゆず酢と同様、コーボンにもよく合います。炭酸水で割って爽やかな柑橘系の味を楽しめます。なべ料理に皮も実も使えます。

芋焼酎の水割り・お湯割りに入れれば香り豊かになります。カクテルにもよく合います。特に「モヒート」には最高です。ミントの爽快さともよくマッチします。

### 耕作放棄果樹園を復活

吉田 有志さんが2016年、この地に就農したとき、元果樹園は長年、耕作放棄地になっていました。辺塚だたいがこの地に古くからある香酸柑橘だったのを知ったのもこのときでした。

耕作放棄地の果樹園のかずらが巻き付いた、あまり実がなっていなかった辺塚だたいの木を整備していくと木が生き生きとしてきました。

### 自然栽培のおいしさに衝撃

農薬や肥料を使わず、自然栽培で育てました。土壌の微生物の力を主に借りて、作物を育てる自然栽培に興味を湧き、福岡正信さんを始め、自然栽培にまつわる書籍を読み、自然栽培を独学で学び始めました。

そんな時期に鹿児島県南さつま市で、自然栽培で柑橘を育てているオルターの生産者でもある自然農園ながさきの長崎 大海さんに出会い、そのグレープフルーツをいただき、そのあまりにもおいし

い味に衝撃を受け、以来、指導を仰いでいます。

### アグロフォレストリーアプローチ

現在1.5ヘクタールほどの畑や雑木山を借りています。アグロフォレストリー的なアプローチを取り入れ、人間が作る従来の果樹園よりも、もっと自然の山の中の環境に近い方法で柑橘や香酸柑橘を育てるべく、苗木を植え続けています。

### 一年中水平線から日の出の見える 土地に住みたい

吉田 有志さんは、日本の大学とアメリカのUniversity of California Berkeleyの2つの大学を卒業したインテリです。

父親の仕事の関係で米国アラスカ州に生まれ、海が見える神奈川県の湘南で育ちました。

大学卒業後、米国に支店のある日系食品商社で働きましたが、英語力不足を感じ、夜間の学校に通い、英語力向上に努めました。やがて、仕事と学業の両立がスケジュール的に厳しくなり、退社をして、自ら貿易業を始め、生活費と学費を稼ぎ、米国の大学を卒業しました。

帰国後、埼玉県に住みましたが、自然が恋しくなり、幼い頃から自然が豊かな海のそばに住みたいと考え、その夢を実現させるべく、千葉県から鹿児島南部の太平洋沿いを車で旅し、「一年中、水平線から日の出が見えて、海拔が100m以上あり、緑に囲まれた土地」を探しました。そして2016年に現在地を見つけ、新規就農を果たしました。

オルターへの紹介は、同じ鹿児島のオルターの生産者、東山ベジフルからです。



辺塚海岸



#### 吉田 有志さんの

### 自然栽培辺塚だたい

☆☆☆

#### ●品種

香酸柑橘 辺塚だたい

#### ●防除

農薬の使用ありません

#### ●施肥

肥料の使用ありません